



垂水消防団 名谷分団  
副分団長 北野 安伸 さん

# 世が世なら「リーガー」?

〈執筆者〉垂水消防署 消防第3係

松本 宜之

垂水消防団名谷分団は、中谷分団長を中心に、25名で活動しています。今回は、元実業団のサッカー選手という経歴を持つ副分団長・北野安伸さんをご紹介します。

北野副分団長は大学卒業後、約5年間、当時のトヨタ自動車(現在の名古屋グランパスエイトの前進!)で、サッカー選手として活躍されていました。選手を引退された後も審判、コーチとしても活躍され、サッカーと深くかかわってこられました。現在も、ビル管理の仕事に加え、N

PO法人「マリノススポーツクラブ」の運営理事として、サッカーを中心とした地域密着型のスポーツクラブの運営に尽力され、少年サッカーの指導、組織運営と、お忙しい毎日を送られています(北京五輪代表のセレッソ大阪、香川選手も教え子だそうです!)。そんな北野副分団長が消防団に入ったのは、35歳のとき。実業団を引退後、実家の仕事の関係から、山南町で4年ほど勤務されていたとき、自衛消防隊として訓練を受けられたこと、また、親戚が名谷分団の団員として活動されていたことから、自然と入団を決められたそうです。

入団後は、夜警、ポンプ操法、地域の祭りの警備など、地域と密着してさまざまな活動を行ってこられました。入団後、中でも思い出深いのが、平成12年に出場した神戸市のポンプ操法大会だそうです。メンバー全員が40歳以上でしたが、一致団結して、3位入賞まで後一步と迫る大健闘。ご自身は、走れないと務まらない3番員として、60mを8秒以内で走ったというから、さすが元実業団選手です。

その後も、救急インストラクター資格取得、防火管理者資格講習会の受講など、副分団長として他の団員の模範となるべく、積極的に活動されています。消防団員で一定期間、管理的な職についていれば、講習会を受講しなくても、防火管理者の資格はあるのですが、「ビル管理の仕事にも生かせるし、何でも機会があれば実際にやってみることが大事です!」と頼もしい一言。今後とも、垂水消防署とともに、垂水の「守り」を、よろしくお願いします!

